

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	オーケストラ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月23日		～ 令和8年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和8年3月1日		～ 令和8年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	令和8年2月23日		～ 令和8年3月19日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3	(回答数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足されている訪問先施設、保護者が多い事	対象児の発達特性、困り感を共有し、支援の方向性を統一するように意識しております。訪問先施設でできる事や環境整理の方法は様々ですので、他の事例を通して説明するようにしております。成功事例をもとに、この部分だったらできるかもしれないといったことを一緒に考えていけるように努めています。	保育所等訪問支援について多くの訪問先施設や保護者に知っていただけるように関係機関とより連携を深めていきたいと思ひます。訪問先施設での困り感の背景にあるものを汲み取りつつ提案していけるように、日頃から相談しやすい関係づくりを図っていきます。
2	事業所からの支援に満足されている訪問先施設、保護者が多い事	訪問先施設の様子だけでなく、当事業所や他の事業所での様子、家庭の様子などを把握した上で行動分析、動作分析を行うようにしております。その場で解決できなかった検討事項においては、放課後等デイサービスでの支援の場などで確かめるように工夫しております。	保護者だけでなく、相談支援事業所などの関係機関とも様子を共有するように丁寧に関わっていきたく思ひます。それぞれの場面で役割り分担を行いながら本人中心の支援となるように努めていきます。

3	<p>保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされている事</p>	<p>お子さんの様子だけではなく、解決に向けた対応や関わりについても説明するようにしております。訪問先施設で取り組む事、事業所で取り組む事、ご家庭で取り組む事に分けながら進めていくようにしております。</p>	<p>少し先の成長予測を伝えたり、ライフステージの見通しを持った上で、現在取り組むべき関わりや方向性を整理するようにしていきます。</p>
---	---	--	---

	<p>事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること</p>	<p>事業所として考えている課題の要因等</p>	<p>改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等</p>
1	<p>訪問支援に使用する教具教材が整えられているかどうかの説明が不十分な事</p>	<p>訪問先施設は集団生活の場面のため、特別な教具教材は必要最小限にするようにしております。また、なるべく訪問先施設にあるもので対応できるものにするようにしております。教材の種類や使用目的を説明する機会が多くありませんでした。</p>	<p>支援内容における選択肢についても提示しつつ、その上で、集団で過ごす児童も対象児も安心して過ごすための方法、提案として説明するようにしたいと思います。</p>
2	<p>保護者会や保護者に向けた研修会を開催していないこと</p>	<p>保護者会の研修会の未実施については、日々の支援業務を優先していた事が要因の一つと考えます。保護者のニーズ把握や参加しやすい形式の検討が十分ではないことも影響していると思われます。</p>	<p>事業所に求めているニーズを具体的にできるようにアンケートの取り方を工夫していきます。アンケートの結果をもとに、どのような形で実施していくべきなのか検討を進めていきたいと思えます。</p>
3	<p>定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されているかわかりづらいこと</p>	<p>連絡体制においては、個別対応とさせていただいている事が多かったため、事業所全体としての取り組みや活動についてはわかりづらかった事が考えられます。</p>	<p>報告書や面談時に支援の意図や事業所としての取組を丁寧に説明し、事業所全体としての活動が伝わるように改善を図ります。ホームページやSNSの更新を図るようにします。</p>